

東北ハイテク研究会講演会

～ドローン活用の農業システムの可能性～



講演会開催の狙い

農林水産省は、平成30年度から新たに、「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」および「スマート農業加速化実証プロジェクト」をスタートし、これまで全国179地区でスマート農業技術の導入に関する実証が実施されている。東北地域からも令和元年度に10件、令和2年度4件、令和3年度も4件が採択されている。さらに、「労働力不足の解消に向けたスマート農業実証」でも3件が採用され、東北管内で広く農家を巻き込んでスマート農業の実証が行われている。

スマート農業技術の中でも、特に応用範囲が広く比較的手軽に取り組めるドローンの活用に対する注目度は高い。今回、ご講演をいただく株式会社ファーム・フロンティア代表取締役会長・藤井弘志氏は、『匠の技術継承と農業の新たな進化』を目指して、2018年の会社設立以来、日本農業の課題である高齢化、後継者不足による労働力確保と異常気象による気象災害にさらされている農家に対し、ICT技術を活用したセンシング農法による省力化・効率化と、ベテラン農家のノウハウを見える化しその技術を提供することを目指して活動を展開している。また、“見える化”の一環として土壌データの収集・分析を通じ、土づくりの実践を支援している。

今回の講演はスマート農業技術の一つの方法である、ドローンを活用した新たな農業の奥深い世界についてご講演いただけることを期待し、今回のセミナーを企画しました。新型コロナウイルスの収束が見えない中でのセミナー開催となり、Online開催を余儀なくされましたが、皆様方の積極的な参加をお待ちしております。



開催日等

日 時：令和3年7月9日(金) 15:15~16:30

開催形態：オンライン開催（Zoom(ウエビナー)によるライブ配信）

参加費：無料

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

<講演会プログラム>

講演

藤井 弘志 氏

(株式会社ファーム・フロンティア 取締役会長、山形大学農学部客員教授)

『稲作のスマート農業戦略』

～ドローンセンシングによる稲作診断技術の開発～』

※講演課題名は、『ドローン活用の農業システムの可能性』から変更。

講演会参加の申込方法等

- 下記の申込先へメールにて7月7日(水)までにお申し込みください。
メール本文へ、氏名及び所属または住所（市町村までで結構です。）をご記入ください。
（お申し込みが多数の場合、受付順に 80名様までとさせていただきます。）
- 受付後、東北ハイテク研究会より URL をお届けしますので、接続のうえご視聴ください。
- 申込先：下記の東北ハイテク研究会のアドレス
E-mail : tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp

問い合わせ先

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局（藤井）
〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 東北農業研究センター内
TEL : 080-2806-9926

- 本講演会は、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われるものです。